

まおくんは、 $521-398$  や  $700-401$  のようなくり下がりのあるひき算について、次のように計算しやすい式にして考えました。

**【まおくんの計算の仕方】**

$$\begin{array}{r} 521 - 398 = \square \\ \downarrow +2 \quad \downarrow +2 \\ 523 - 400 = 123 \end{array} \quad \begin{array}{l} \swarrow \\ \searrow \end{array} \quad \begin{array}{l} \text{変わらない} \\ \text{変わらない} \end{array}$$

だから、 $521-398$  の答えの  $\square$  は、123 です。

$$\begin{array}{r} 700 - 401 = \square \\ \downarrow -1 \quad \downarrow -1 \\ 699 - 400 = 299 \end{array} \quad \begin{array}{l} \swarrow \\ \searrow \end{array} \quad \begin{array}{l} \text{変わらない} \\ \text{変わらない} \end{array}$$

だから、 $700-401$  の答えの  $\square$  は、299 です。

**【まおくんの計算の仕方】**を見ると、ひき算では、ひかれる数とひく数に同じ数をたしても、ひかれる数とひく数から同じ数をひいても、差は変わらないのですね。



かこ

- 1 **【まおくんの計算の仕方】**をもとに、 $860-97$  について、計算しやすいようにひく数の97を100にした式で考えます。

$$\begin{array}{r} 860 - 97 = \square \\ \downarrow \quad \downarrow \\ \text{㉞} - 100 = \text{㉟} \end{array} \quad \begin{array}{l} \swarrow \\ \searrow \end{array} \quad \begin{array}{l} \text{変わらない} \\ \text{変わらない} \end{array}$$

だから、 $860-97$  の答えの  $\square$  は、 $\text{㉟}$  です。

左の㉞, ㉟, ㉟に入る数を書きましょう。

㉞	8 6 3
㉟	7 6 3
㉟	7 6 3

かこさんは、くり下がりのあるひき算を計算したときにもとにした考えをふり返って、次のようにまとめました。

**【かこさんがまとめたこと】**

ひき算では、  
ひかれる数とひく数に同じ数をたしても、  
ひかれる数とひく数から同じ数をひいても、  
差は変わりません。  
このことを使うと、計算しやすいひき算の式で考えることができます。



えりかさんは、 $300 \div 25$  や  $60 \div 12$  のようなわり算についても、計算しやすい式にすることができると思い、下のように考えました。

**【えりかさんの計算の仕方】**

$$\begin{array}{ccc} 300 \div 25 = \square & & \\ \downarrow \times 4 & \downarrow \times 4 & \\ 1200 \div 100 = 12 & & \end{array}$$

変わらない

だから、 $300 \div 25$  の答えの  $\square$  は、12 です。

$$\begin{array}{ccc} 60 \div 12 = \square & & \\ \downarrow \div 6 & \downarrow \div 6 & \\ 10 \div 2 = 5 & & \end{array}$$

変わらない

だから、 $60 \div 12$  の答えの  $\square$  は、5 です。

2 ひき算について書かれた【かこさんがまとめたこと】と同じように、わり算についても、【えりかさんの計算の仕方】をもとにまとめると、どのようになりますか。

下の          の中に、「わられる数」、「わる数」、「商」の3つの言葉を使って書きましょう。

わり算では、

**わられる数とわる数に同じ数をかけても、**

**わられる数とわる数を同じ数でわっても、**

**商は変わりません。**

このことを使うと、計算しやすいわり算の式で考えることができます。